

NAREC

newsletter

No.82

2024 Winter



ふるさとの未来を創る！

2023夏 環境系学生未来塾 3か所で実施しました！

石部棚田の稲刈り in 松崎町

学生交流レンジャーズ

身近な自然との関わり方を考えよう！



シジュウカラ (東京都練馬区)

Photographed by Fukashi Oguchi

2023年夏は鹿児島県屋久島町、長野県泰阜村、北海道羅臼町知床の3地域で環境系学生未来塾を開催しました。

本企画は、自然環境や地域活性、第一産業など、環境系の分野に少しでも興味のある大学生に向けた、これからの人生をデザインするワークショップ型合宿です。自然の中で自分と向き合い、地域で生きる様々な人の想いを聴きながら、仲間との対話を通してこれからの生き方を考えます。

※環境系学生未来塾は2022年度 内閣府 関係人口モデル事業に選定されています。

2023.08.28~2023.09.01

環境系学生未来塾 in 屋久島

NPO法人HUB&LABO Yakushimaとの共催で実施しました。鹿児島県から東京まで全国から8名の大学生が参加しました。屋久島の大自然を堪能する時間や島の暮らしを体験できる宿泊施設を立ち上げた方のお話を伺い、観光だけに留まらない地域とのかかわり方に気づく時間となったようです。参加者の中には、自分の故郷の地域でも環境系学生未来塾を開催したいとの声があり、今後の展開に希望の見える4泊5日となりました。

2023.09.03~2023.09.06

環境系学生未来塾 in 泰阜村

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター（以下、GW）にご協力いただき、実施しました。社会人参加者2名、学生参加者2名での開催となりました。

GWでは1年間の山村留学の受け入れを行っています。15名ほどの小学校4年生から中学校3年生の子供たちが学校に通いながら、“生きる力”を身につける暮らしをしています。薪を山から伐りだし自分たちでお風呂を焚いたり、野菜や米を自分たちで協力して育てたり…そんな子供たちとの交流の時間や実際に暮らしの体験を通して、参加者からは自然と関わる暮らしの豊かさの気づきの声が多数上がりました。都会の大学を卒業して、都会で働く以外の可能性について考えるきっかけとなったようです。

2023.09.08~2023.09.12

環境系学生未来塾 in 知床

NPO法人HUB&LABO Yakushimaとの共催実施しました。北海道知床での開催は初の試みです。関東の大学生を中心に3名の大学生が参加しました。知床ではクマとの共存が死活問題となっています。動物と人とのかかわり方を探求している3名の知床在住の方のお話を聞きました。クマと人間の緩衝地帯を守るため草刈りやゴミ拾いを実施している方、漁師と猟師をしながら生態系の中に生きる人間のあり方を模索している方、知床と大阪の二拠点生活をしながら旅を通して都会の人たちに新しい人間の在り方の気づきを促す旅行会社の方…三者三様、とてもユニークな人生のストーリーをお聞きすることができました。これから就活や就職を控えた大学生にとっては多様な働き方、自然とのかかわり方があるという気づきがあったようで、とても刺激的な時間となりました。

2024年春は鹿児島県屋久島町、大分県耶馬溪町での実施を予定しています。

(ふるさと未来担当 石黒)



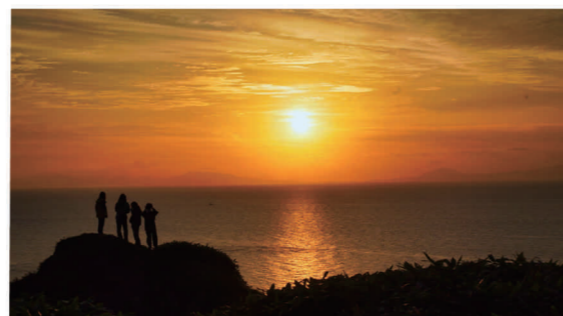
▲環境系学生未来塾 in 屋久島の参加者たち (撮影：小松純哉)



▲環境系学生未来塾 in 屋久島の参加者たち



◀薪割体験 (環境系学生未来塾 in 泰阜村)



▲日本の北端からの朝日と参加者たち (環境系学生未来塾 in 知床、撮影：福元豪士)



▲ゴミ拾い活動 (環境系学生未来塾 in 知床、撮影：福元豪士)

活動レポート 1

石部棚田の稲刈り in 松崎町

澄み渡る秋空の下、伊豆半島の西側の先端に位置する静岡県松崎町にて、石部棚田の稲刈りを行いました。石部棚田は平成初期には過疎化の影響でほとんどが荒地になっていましたが、「棚田オーナー制度」を導入し現在では約370枚の棚田が復元され、毎年美味しい棚田米を収穫しています。当協会はこの棚田のオーナー会員となっており、田植え祭や収穫祭などのイベントに参加しています。コロナ禍で一旦活動が途絶えていましたが4年ぶりの開催に、前回の活動にも参加された学生さんや初参加の20代女性、他の棚田での経験者も含め関東各地から参加者が集まりました。

普段の生活では味わうことのできない長閑な日本の原風景からパワーをいただき、刈り取っては稲穂を束ね稲架(はさ)に架ける作業に精を出し、作業を終える頃には3枚の棚田から稲を収穫することができました。地域や人々が助け合う「結(ゆい)」の伝統を受け継ぎ、環境を守ることの素晴らしさに触れることができた活動となりました。これからもレンジャーズプロジェクトは、人と自然がともに生活する社会を目指し身近な自然を保全する活動を行ってまいります。ぜひご支援の程よろしくお願いいたします。

(レンジャーズ担当 佐々木)

DATA

- 日時 10月7日(土) 11:40~16:20
- 場所 静岡県賀茂郡松崎町
- 作業内容 稲刈り
- 参加人数 6名
- 現地団体 石部棚田オーナー制度事務局 松崎町企画観光課

活動レポート 2

学生交流レンジャーズ:身近な自然との関わり方を考えよう!

~1人1人の自然保全~ in 鎌倉中央公園

このたび、当協会ではインターン生の企画による新しい試みとして「学生交流レンジャーズ」を開催しました。

この活動は、自然の保全体験と、そこから生まれる世代間交流の機会を、多くの学生に提供したいという思いから、一昨年から続いている「学生限定レンジャーズ」を刷新し実現にいたしました。

活動は、前半が対話型、後半が体験型という形で実施されました。

前半は、現地団体の方から鎌倉中央公園の谷戸をどのように保全してきたのかなど、普段のレンジャーズでは聴けないお話を聞くことができました。お話の中では学生に問いを投げかけて下さり、一緒に自然との関わり方を考える場面も見られました。後半では、田んぼの畔直しを行いました。田んぼの泥との格闘から始まるこの作業は、かなりの体力が必要な作業ですが、前半の交流で雰囲気が和んだこともあり、コミュニケーションをとりながら楽しく活動は進み、あっという間に作業は完了しました。活動後は、参加者の皆さんと一緒にお昼ごはんを食べて解散となりました。

普段の生活では、自然が好き、自然を守りたいという思いを持ちながら人と繋がる機会は多くないので、今後も人との繋がりを大切にしながら、皆さんと一緒に自然の保全活動をしていきたいと思っています。これからもレンジャーズプロジェクトへのご支援をよろしくお願いいたします。

DATA

- 日時 12月3日(日) 9:00~13:00
- 場所 鎌倉中央公園
- 参加人数 5名
- 現地団体 NPO法人 山崎・谷戸の会

(インターン生 田代瑠璃音)



▲駿河湾を望み山に囲まれた棚田の絶景



▲刈り取った稲穂を束ねる作業の様子



▲棚田の収穫を終えて



▲前半：対話での世代間交流



▲後半：田んぼの畔直し

環境系学生未来塾 参加者の受付を開始しました!

2024年2~3月に鹿児島県(屋久島)と大分県(耶馬溪)にて開催する、環境系学生未来塾の受付案内を環境系学生未来塾公式ホームページ上で公開しました。自然に寄り添いながら暮らす人々と出会い、その暮らしや想いを感じ、そして一緒に過ごす仲間と自分と向き合い、未来を考える5日間です。受付は先着順です。詳細はHPをご覧ください。

※前号でお知らせしました清里は、開催見送りとなりました。

▶詳細・受付: <https://miraijyuku.info/>



環境再生医初級認定校に新しく2校が加わりました。

今年度より、環境再生医の初級資格認定実施校として委嘱されたのは次の2校です。

- ・酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類
- ・静岡大学 グローバル共創科学部

認定校についての詳細はホームページをご確認ください。

▶<https://narec.or.jp/activities/saiseii/school/>



「あすのはね」贈呈式に出席しました!

朝日ライフアセットマネジメント株式会社「朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド(愛称:あすのはね)」の第23期寄付先に採択をいただき、島村理事長が贈呈式に出席し、活動のご報告をいたしました。ご寄付は、身近な自然を支えるレンジャーズプロジェクトを通じ、都市の自然環境の保全のため大切に活用させていただきます。

▶<https://narec.or.jp/infomation/22475/>



ご支援のお願い

当協会の活動は会員の皆様や取り組みにご賛同くださった寄付者の皆様によって支えられています。いただいたご寄付は全国的に担い手不足となっている環境人材を応援し、都市部、農山漁村部の自然を未来に残します。



ご寄付について

以下口座やゆうちょ銀行、クレジットカードで受け付けています。

三菱UFJ銀行 神田支店
普通 5567029

口座名義
特定非営利活動法人
自然環境復元協会

▶https://bit.ly/narec_donate



Tポイント(期間限定ポイントも可)を使った寄付が可能です。

※詳細については下記ホームページをご覧ください。



▶https://bit.ly/narec_yahoo01



家にある不要なものを送ることでNARECの活動を応援できます! 着払いで配送可能。無料で、気軽に、簡単に始められます。

※詳細や領収書については
下記ホームページ
をご覧ください。



▶https://bit.ly/narec_buppin

[表紙]シジュウカラ (*Parus minor*): 東アジアからロシア極東にかけて分布し、日本では留鳥として一年中身近に見られる、スズメほどの大きさの野鳥です。白地に黒いネクタイ模様のシックな出で立ちで、背中の黄→緑→青のグラデーションには目を見張ります。最近の研究では、ツープツーピー・ジャージャーといったさえずりパターンの組み合わせにより非常に多様な会話が行われ、混群の他種間でも意思疎通がなされていることがわかりました。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

発行: 認定NPO法人自然環境復元協会 所在地: 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1-7ホヲトクビル201

HP: <https://narec.or.jp/> Mail: info@narec.or.jp

本誌は株式会社ベルライフの協力により制作しています。